



平成30年5月31日 第2号

「白高通信」は白高ホームページにてカラーでご覧いただけます↑

第55回白角定期戦（通算第55回，統合後第8回）が昨年度に引き続き角田市総合体育館を中心とし，5月16日（水）に実施されました。当日はこれまでの雨模様がうそのように晴れ渡り暑い一日になりましたが，それに負けず劣らずの「熱い」全11種目の戦いが繰り広げられました。結果は，競技に応援に全校一丸となり定期戦を戦った白石高校が**8勝3敗で勝利し5連覇を達成！**通算総合成績を38勝14敗3分けとしました。

平日にもかかわらず，定期戦当日は大勢の保護者や卒業生の皆さん，地域の方々が応援に駆けつけてくださいました。本当にありがとうございました。



白高大勝利!!



☆男子バレー	白石 2 - 0 角田
★女子バレー	白石 1 - 2 角田
☆男子バスケ	白石 108 - 82 角田
☆女子バスケ	白石 125 - 28 角田
☆男子テニス	白石 3 - 0 角田
★女子テニス	白石 0 - 3 角田
☆男子卓球	白石 3 - 0 角田
☆女子卓球	白石 3 - 0 角田
☆男女弓道	白石 13 - 2 角田 1分け
☆サッカー	白石 2 - 1 角田
★野球	白石 4 - 5 角田

《 応援練習を経て 》

4月10日の定期戦旗揚げ式を皮切りに，新入生も朝の応援練習，全校応援練習などを経て，白高生としての自覚を高めていきました。指導する応援団や上級生，指導される新入生，どちらも真剣に取り組み，学校としての一体感が醸成されていきます。



白高のM&Tタイムが変わります！

今年度から、白石高校の「総合的な学習の時間」(学び(M)と問い(T)を大切にする「M&Tタイム」)を大きくリニューアルすることとなりました。

新・M&Tタイムでは、変化の激しい社会に適応し、自らの課題を発見・解決できる資質・能力の育成を図るため、3年間を通して「課題研究」「小論文」「ディベート」に取り組めます。
(平成30年度は1, 2年次のみ)

ディベート	多角的なものの見方や考え方を身に付け、論理的思考力をきたえる。
課題研究	「Ⅰ地域創生ゼミ」「Ⅱ人文科学ゼミ」「Ⅲ社会科学ゼミ」「Ⅳ自然科学ゼミ」に分かれて探究活動を行い、基礎的基本的な研究の手法を学ぶ。
小論文	「ディベート」で学んだ論理的思考力を生かし「課題研究」に取り組んだ成果を文章にまとめる力を身に付ける。

「ディベート」が行われました

1年次「日本の未来を救うのは理系である。是か否か。」

2年次「A村は高齢化が進んだ山間の豪雪地帯にあり、毎年屋根の雪下ろしが追いつかず、家屋の倒壊が相次いでいた。そこで村の近くにあるB大学は卒業に必修科目として、村の除雪のボランティア活動を義務づけた。是か非か。」



1年次「ディベートオリエンテーション」では、本校社会研究部が本格的なディベートを披露しました。



1年次「ディベートルールプレイ」の一コマ。ディベートの流れを学びます。



資料をもとに、立論します。



5/21年次ごとに予選大会を行いました。優秀クラスは6/25の決勝大会に進出します。